

名取重治副町長 就任

任期 平成25年9月6日～平成29年9月5日



9月6日(金) 役場において名取重治副町長の就任式が行われました。名取副町長は、平成13年～平成21年の8年間に収入役、助役、副町長を歴任し、今回2度目の副町長就任となりました。

名取副町長は式で「富士見町のさらなる発展と、地域福祉向上のため課題に取り組んでいきたい。そして多くの町民の方と接触し会話を持つこと、また、職員が伸び伸びと仕事をし、力を発揮できる環境づくりに努めたい。町民の方と一緒に汗をかき、一緒に知恵を出し合っていきたい。」と抱負を述べました。

小林町長からは「行政運営の識見、経験豊かで判断力・行動力に優れ、町民の方からも信頼が厚い。町の活性化に対する強い思いがある。」と紹介がありました。

連携を重視した防災訓練

～9月1日(日)実施 富士見町総合防災訓練～

問 総務課 防災・危機管理係 ☎62-9326

尊い命と財産が一瞬にして奪われる災害。大地震の発生や予想を越えた集中豪雨等の自然災害を封じ込めることはできません。このような事態に備え、安全対策や避難場所の確認など、日頃から災害に対する心構えをしておくことは非常に大切なことです。

今月号は、9月1日の「防災の日」に行われた「町総合防災訓練」の様子を写真と図解で紹介します。

今年度は、災害時の初期初動体制の検証を中心とした訓練を実施しました。

訓練は町内を縦走る糸魚川―静岡構造線を震源とする震度6強の内陸直下型地震を想定したもので、「広範囲で家屋の倒壊等による多くの負傷者が発生し、ライフラインにも大きな被害が発生、電話が不通、電気も通電していない状況」としました。

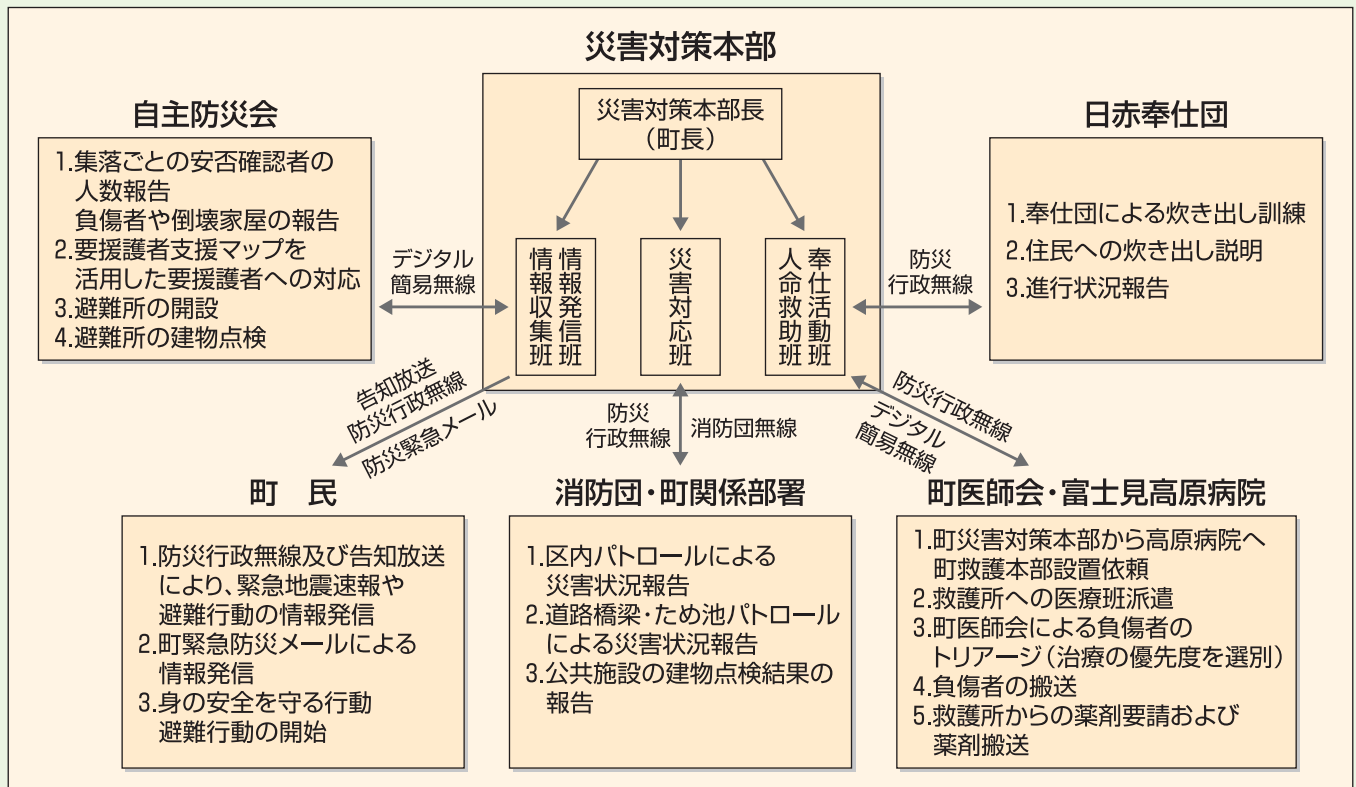
この被害想定のもと、(1)災害対策本部立ち上げ訓練、(2)災害広報訓練、(3)住民安否確認訓練、(4)救護所設営訓練、(5)災害医療訓練(負傷者搬送)、(6)日赤奉仕団による炊き出し講習などを実施しました。

- 富士見小学校会場では、原の茶屋・富士見ヶ丘自主防災会のご協力をいただき医療救護訓練等を行いました

【医療救護(トリアージ)訓練】



▲医師会、富士見高原病院との協力・連携により、「トリアージ」(ケガの緊急度や重症度によって医療機関への搬送の優先順位を決めること)の訓練を行いました



【炊き出し訓練】



▲日赤奉仕団の指導による炊き出し講習

【救急法指導】



▲救急法の手順を学ぶ参加者

◆今回の訓練は……

1. 災害対策本部と防災関係団体等による、しっかりとした連携
2. 迅速に安否確認、災害情報を確認し、適切な指示・対応を実施
3. 訓練(災害)周知について、複数系統の情報伝達手段を活用

◆今後の訓練充実に向けて

1. 町民の皆さんの防災訓練への意識高揚
2. 現在の訓練(災害)情報をより早く、より詳しく伝えるための検討
3. 町民の皆さん全員の防災訓練参加をお願いします

※今後も災害が発生した際、落ち着いた行動がとれるよう、日ごろから組織的な取り組みを行うことが大切です。